

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者計画・障害福祉計画策定事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害者、支援者	意図	障害者の生活志向や意識についてアンケートの実態調査を行い、その結果を計画に反映する。
事業内容	第5次障害者計画、第4期障害福祉計画の策定にあたり、実態調査を行うことにより障害者を取り巻く社会環境の変化における意識を確認するためアンケートを実施する			
事業開始から現在までの状況変化	流山市障害者計画は、障害者基本法第9条に基づく障害者計画として、流山市の障害者施策全般に関する基本的な計画として策定した。 平成25年度アンケート実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	障害者計画アンケート回収率		54.50		
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） アンケート実施結果を持って、平成26年度には、福祉施策審議会に諮問し、答申を得、計画に反映する。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,979,700	1,884,807			
事業費(b)(円)			1,281,000	1,193,880			
うち一般財源			1,281,000	1,193,880			
職員給与費(c)(円)			698,700	690,927			
人役・職員(人)			0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	平成25年度のアンケート実施結果を踏まえ、平成26年度は福祉施策審議会に諮問し、答申をいただくとともに、計画策定にあたり多くの市民の意見を計画に反映するためパブリックコメント	③取り組みの課題	多くの方々からの意見を集約する必要があることから、計画的に業務を遂行する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	平成26年4月16日に福祉施策審議会に答申、同年10月22日付けで答申をいただく。パブリックコメントを実施した。	④今後の改善計画	計画策手にあたっては、計画策定がスムーズに行えるようスケジュール管理を行っていく。